

令和5年度 学校教育アンケートの結果

令和6年2月22日 吹田市立高野台小学校長 村上 弘明

保護者のみなさま、今年度も学校教育アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。

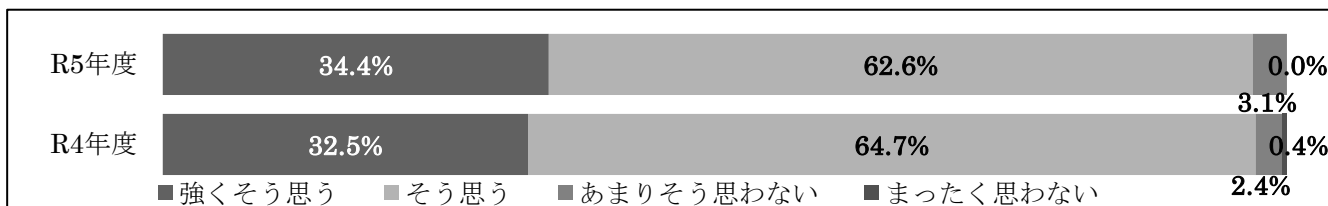
94.2%（回答数 262 児童数 278 保護者の方に回答をいただきました。たくさんのご回答、感謝申し上げます。令和4年度と比較し集計結果をまとめましたので、下記の通り報告いたします。

今年度、アンケートの半数以上の項目で「強く思う」の割合が増えていることは、大きな励みとしたいと思います。また、文章記述での一部厳しいご意見もいただきましたが、教職員全体で真摯に受け止め、学校力の向上、教育活動の充実に努めてまいりたいと考えております。

今後とも、高野台小学校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

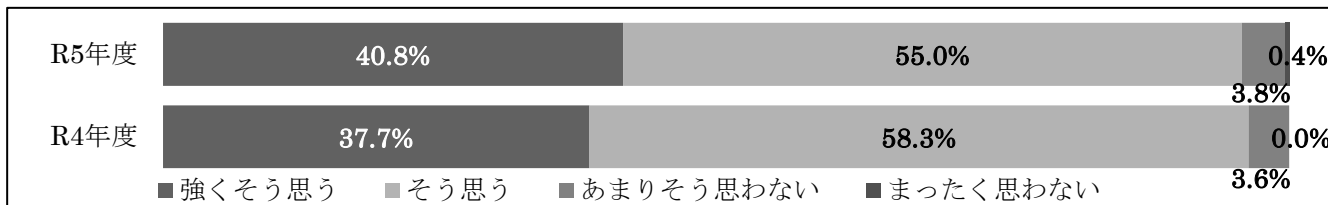
【保護者アンケート】

1. 学校は、学校だより・学年だよりやホームページ等で教育内容をわかりやすく伝えている。



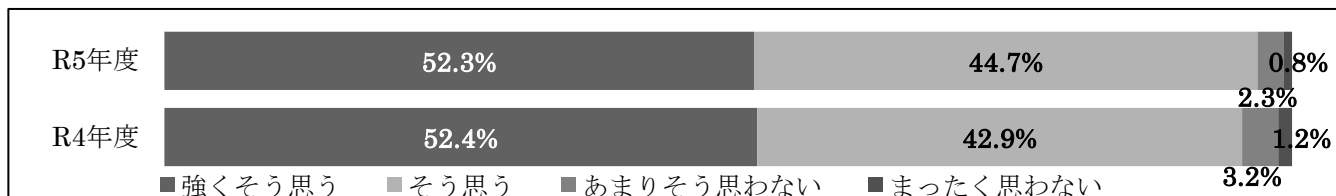
コロナ禍により、懇談等の機会がなかなか設定しにくい状況の中、特に情報発信の機会の重要性を感じており、学校だより・学年だより・ホームページについても見直しを図ってきました。肯定的な回答の割合は**97.0%**で、昨年度とほぼ変わらず、一定の手ごたえを感じています。今後も日々の学習や教育活動について発信の充実を図っていきます。

2. 本校の学力向上の取り組みは、子どもにとって意義がある。



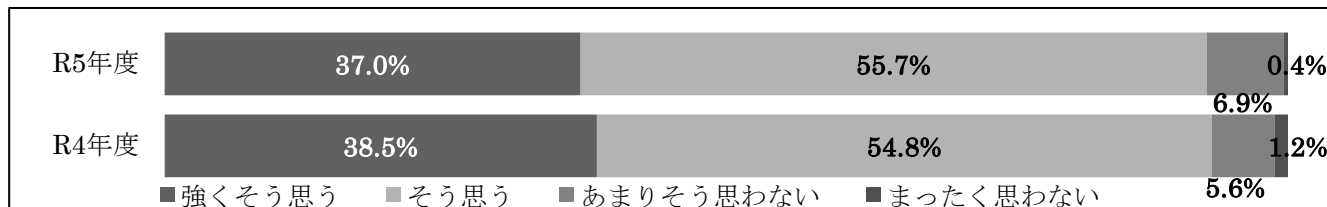
今年度、3・4・5年生で、算数教員が加わっての習熟度別指導を実施し、3・6年生では授業交換を行い、担任2名が授業を通して学年全体に関わりました。はなまるタイム、頭の体操など、確かな学力の定着や向上をめざした取組をさらに進めるとともに、取組内容について各家庭への周知と理解、協力を得られるように努めます。

3. 子どもは、楽しく学校に通っている。



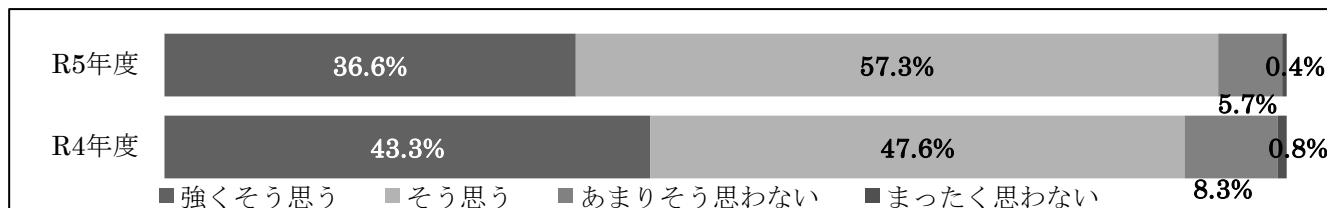
肯定的な回答の割合は**97.0%**と、昨年度より高くなっています。学校生活や教育活動における制限を設ける必要なく一年を過ごすことができ、そうした子どもたちの気持ちが数字にも影響したかもしれません。今年度も、子ども主体をキーワードにさまざまな取組を進めてきました。今後も、日々の学校教育活動を一層充実させ、よりよい人間関係を築けるよう子どもたちの意識を高めていきたいと考えます。

4. 学校は、楽しくわかりやすい授業に力を入れている。



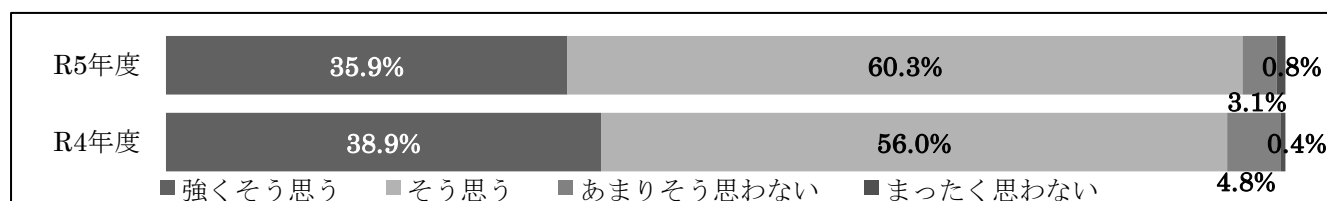
肯定的な回答の割合は、昨年度とほぼ変わりありません。学習活動の工夫、一人一台の学習用端末（iPad）の効果的な活用、主体的・対話的で深い学びをめざした授業づくりなど、今後も、教員の授業力を高めるとともに、個に応じた指導や習熟度別指導の充実など学習形態や指導方法の工夫・改善に取り組んでいきます。

5. 教職員は、子どもを理解している。



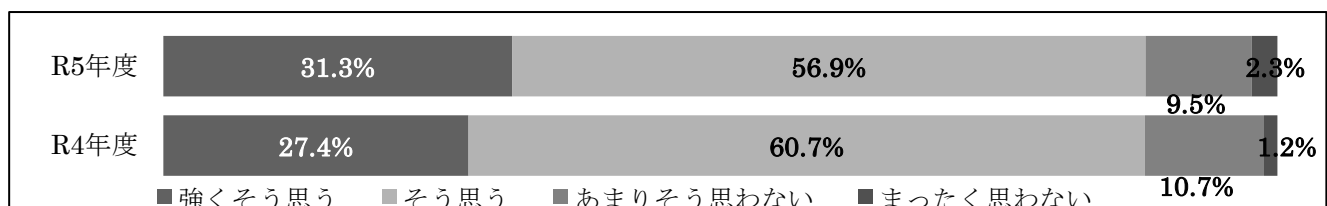
肯定的な回答の割合は、昨年度より3%高くなっています。一方で、「強く思う」の割合が大きく下がっていることについては、しっかり受け止めたいです。家庭と連携しながら、教職員がいてねいに子どもたちを見取るとともに、より理解を深めていきたいと考えます。

6. 教職員は、子どもの能力や努力を適切、公平に評価している。



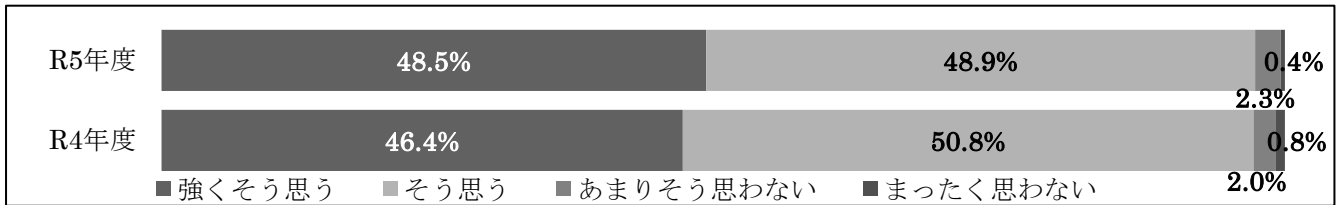
肯定的な回答の割合は昨年度とほぼ変わりません。コロナ以降、肯定的な回答の割合が上がっている項目です。子どもたちのがんばりをよりいてねいに見取っていききたいと思いつき取り組んできました。子どもたちと向き合い理解を深めるとともに、学習状況や学校生活の様子などを適切に家庭と共有していけるように努めます。

7. 「あゆみ」は、子どもの学校生活の様子や学習の理解度がわかりやすく表されている。



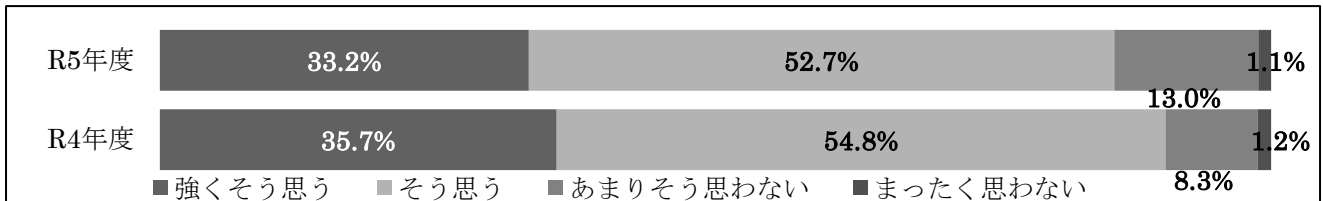
R2年度、新学習指導要領のスタートに伴い、「あゆみ」（評価）の大幅な改訂を行いました。肯定的な回答の割合は昨年度とほぼ変わりありません。アンケート記述では、「あゆみ」の項目についてご意見をいただきました。ここからも推移に注目し、声を拾っていきたくと考えています。今後も、「あゆみ」（評価）の見方や規準について、資料をより分かりやすく充実させるとともに、学年だよりや学級懇談等を通じてお伝えしていきます。また、評価の規準を子どもが理解することで、自身の課題の克服につながるように努めます。

8. 運動会、校外学習、林間学習、修学旅行などの学校行事は、積極的に活動できるように、工夫されている。



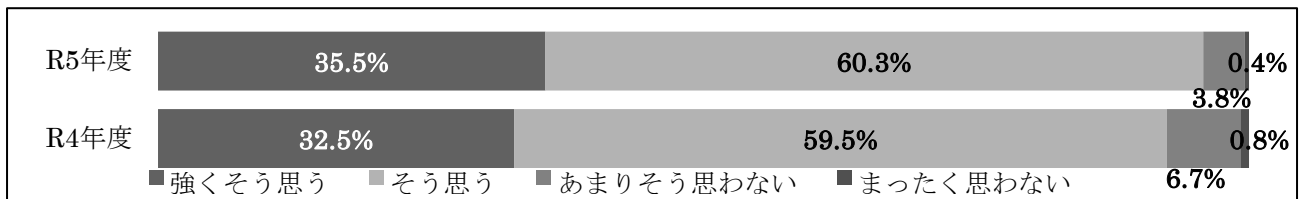
肯定的な回答の割合は **97.4%**と昨年度とほぼ同じ高さです。プール公開や、2回に分けた音楽会等、試してみたものもありました。また、子どもたちがより活躍できるよう、「子ども主体」を柱に内容の見直しも行っていきます。学校行事については大きな教育的価値のあるものだと考えておりますので、保護者・地域の理解や協力を得ながら、実施時期の見直しや内容の精選・工夫改善に努め、児童が意欲的に取り組めるように検討していきます。

9. 学校は、家庭への連絡や意思疎通等、きめ細やかな対応をとっている。



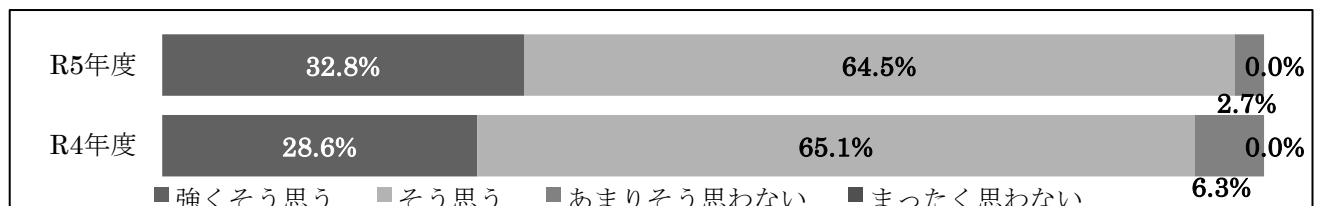
肯定的な回答の割合が、昨年度初めて9割を超えましたが、今年度は下がってしまいました。他の項目に比べても、肯定的な回答の割合は高くありません。コロナ禍以降、家庭への連絡や意思疎通について、よりていねいな対応を心がけたいと取り組んできたところです。再度ふり返り、より適切かつ細やかな対応に努めていきます。

10. 学校は、いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。



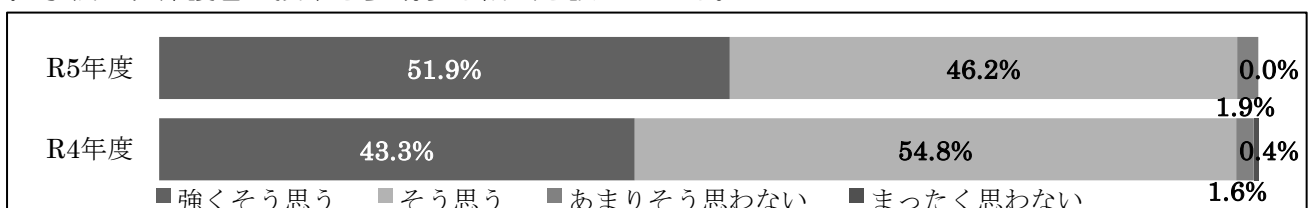
全市的に「いじめ予防授業」がスタートして4年。R3年度には高野台中学校ブロック3校で、研究推進校として、市に先んじたカリキュラムにも取り組みました。今年度、肯定的な回答の割合が95%を超えました。今後、一層いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいきます。

11. 学校は、きまりを守る態度を育てようとしている。



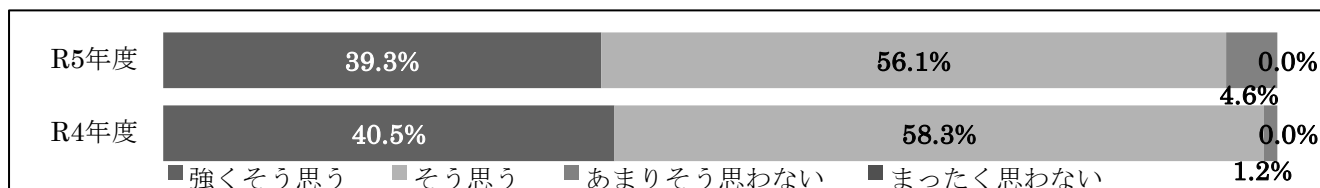
規範意識の醸成という点から設定した項目です。肯定的な回答の割合が **97.3%**と、昨年度からさらに高くなっておりませんが、今後もきまりを守る態度の定着を図っていきます。

12. 学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている。



土曜参観を含めた年間4回の授業参観に加え、プール公開や、2回に分けた音楽会等、試行してみたものもありました。肯定的な回答の割合は**98.1%**と同じですが、「強く思う」の割合が大幅に増えているのは、そのことが関係していると思われます。今後も、できるだけ子どもたちの学習の様子を参観いただけるように、学校行事の実施時期などを検討していきます。

13. 学校は、地震や台風等の災害時や緊急時の行動について、子ども・保護者に伝えている。



近年、地震・台風などの自然災害に係る緊急的な対応が求められています。そうしたことから設定した項目です。今年度はすべて全校での避難訓練が実施できました。内容をふり返り、訓練としての価値を高めていきます。また、迅速かついねいな対応に努め、反省点や課題を検証していきます。

【保護者アンケート記述欄について】

保護者のみなさまからの温かい言葉、そして、ご意見やご指摘をいただき、感謝いたしております。すべてのご意見に回答をできておりませんが、保護者のみなさまの貴重なご意見を真摯に受け止め、本校の教育活動をよりよいものにしていきたいと考えます。ご理解のほどよろしくお願いたします。子どもたちが心豊かで健やかな成長を促すことのできる学校体制づくりを進めるためにも、学校、地域、すべての保護者のみなさまで高野台小学校のすべての児童を見守っていきたく思います。

以下に、項目ごとに主なご意見を挙げております。項目ごとに学校としての考えを総括的に記述いたします。

<メール等連絡手段について>

- ・連絡手段がメール、紙、アプリとあり、把握することが難しい。(一本化してほしい)
- ・持ち物や予定などは、色々な紙にバラバラにせず連絡していただけるとわかりやすいです。
- ・おたより等、紙とメールと試してくださいありがとうございます。さくら連絡網はとても便利で、先生からのお返事もおいそがしい中感謝いたします。
- ・学年だよりも、もう少しクラスの様子が変わるようになればいいなと思います。

「さくら連絡網」が全市的に導入され、ご家庭の端末を使っての欠席連絡が可能になりました。「さくら連絡網」アプリは、メールと同様の機能や資料の添付も可能です。一方で、学校からの緊急連絡手段としては、以前より「ツイタもん」を使って行っています。基本的には、さくら連絡網は欠席連絡用として、ツイタもんは緊急連絡用として、使い分けていきたいと考えています。ただ、ペーパーレス化も見据えていく必要はありますが、学校からの情報がしっかり行き渡るようにしたいので、重要なものは従来のまま紙で配付するのがより確実だと考えています。おたよりの内容も見直していきます。今後もよりよい方法について検討していきたいと思ひます。

<あゆみ・学力向上の取組について>

- ・一度しかあゆみをもらっていませんが、全員同じ内容だったようなので、マークシートではそのように回答させていただきました。
- ・あゆみをもう少し細かく分けて評価してほしい。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。少人数でよく見て頂き、助かっています。「はなまるタイム」の設定もありがたいです。先生方はとても大変とは思いますが、引き続きよろしくお願いたします。
- ・子どもの学習について、不安を感じた時など少し話ができる機会があればと思いますが、面談以外は難しいでしょうか？

これらは【保護者アンケート】の項目にもあり、この前半部分に項目ごとにグラフと分析を掲載しています。肯定的な回答をたくさんいただいた項目ではありますが、さまざまなご意見もあるということにもしっかり留意し内容の充実を図っていきたくと思ひます。また、気になることはご相談ください。

<先生の対応について>

・子どもが休んだ日の対応を統一して欲しいと感じました。上の子の学年はずっと、当日学習内容や宿題、あとお友達からのメッセージ付きの連絡票をお友達や兄弟に渡し届けてくれていますが、下の子の学年ではそういうのがないので。

・先生が宿題を配り忘れた際に、先生が忘れたのかどうかかわからず、学校に取りに帰らせたことがあります。本人は自分がなくしたと思って泣いて帰ってきたので、忘れ物にはご留意いただけますようお願いいたします。

・学校教育について、先生によって違う対応が多々あると、混乱を招いたり、納得がいかないことが増えると考えます。高小での統一した基本的な教育の規定があるようでしたら、情報共有をしていただけたらと思います。

小学校では1～6年生まで子どもたちの発達段階も広いため、全ての対応を同じにすることはしていません。連絡帳の扱いや荷物の持ち帰りなどと同様に、学年により変化させて対応しています。しかし、その分、学年の中では、基本的な内容を統一しておく必要があると考えます。学年での取組・対応は揃えた上で、特に低学年ではていねいに、そして教職員それぞれの持ち味も活かしていきたいと思っています。子どもたち一人ひとりを見取り、ていねいな指導に努めていきます。

<学校行事・参観と日程について>

・水泳参観？と夏休みの作品展を同じ日程にして頂けると仕事の調整がしやすいです。
・本年度プール参観の件では、ご対応いただきありがとうございました。子どもを学校にお願いしている以上、どのように水泳の授業を進めているのか、保護者として確認する必要があると考えていました。
・学校での様子があまり把握できないので、機会が増えるよう希望します。
・林間学習のスケジュールがタイトなのが気になったので、もう少しゆとりが欲しかったように思いました。

・先日は高野台まつり、ありがとうございました！！先生方 PTA、ボランティア、地域のみなさま上げて、子どもたちのためにあんなに楽しい取りくみをありがとうございました。先生方もお休み返上だったのではないのでしょうか？お休みがとりやすく、働きやすい環境でありますように、こちらができることがあれば、お知らせ下さい。（さしでがましくすみません）

・学校行事が出来る様になったのはうれしく思う。生徒が孤立することなく、これからも毎日行きたい！！と思える学校であってほしいと思う。

学校行事は、子どもたちが学習を通して積み上げてきたものを達成する場、子どもたちが主体的に取り組み輝く場、そして子どもたち同士の学び合いの場です。

コロナ以降、学校では、万全な状態では実施できない中、常に優先順位に向き合わざるを得ない場面がたくさんありました。

学校としては、まずは子どもたちを中心に、子どもたちにとってより価値のある活動の持ち方を検討し、子どもたちの活動を保障することを、優先的に考えています。

例えば、プール公開についても、コロナ期間には十分な水泳学習を実施できにくかったこともあり、コロナ期間を経た水泳学習の状況を、制限が必要ない今年度なら見てもらえると設定しました。次年度以降については、継続するのか、日程はどうするのか等、他行事の兼ね合いを見ながら検討していきます。

<宿題・家庭学習について>

・最近宿題を丁寧やる習慣がほとんどなくなり、不安に思っています。例えば漢字など文字は低学年のうちにはしっかりやっておかないといけないと思うので細かく注意して頂けると助かります。テスト直しもしっかり自分で考えて直して解き直すように導いていただきたいです。

・自主学習の取り組みについて、学校のホームページには、学習に余裕のある生徒が興味のあること、苦手なことなど自主的な学習に取り組むとあり、メニューの例に漢字テストに向けての練習とあります。子供が漢字が苦手なので漢字の練習を勧めたのですが、「漢字は最終手段と言われたためできない」と言い、かと言って自ら調べ学習をするのも1学期の間は大変でした。2学期になってようやくやり方がわかってきた様子ですが、それでも毎週は大変です。

調べ学習をしなければならないのでしたら、もう少し丁寧な指導や、調べ学習を活かした授業をしてもらえると良いと思います。

自主学習なのでから内容に甲乙があるような事は言わずに、自分で学ぶためのヒントを与えて頂けると良いのかなと思います。

宿題は、家庭での学習習慣をつけるため、学習内容の定着を図るため実施しています。特に漢字の定着には積み重ねが必要と考えています。先生がしっかりと見取り、子どもたちにも伝え、ご家庭とも連携して取り組んでいきたいです。

自主学習については、子どもたちに身につけてほしい力として、学校全体で継続して扱っています。内容の決まった宿題と比べて、自分で決めて進める自主学習は進めにくいと感じる子もおり、だからこそ続けてきたというところもあります。ご家庭でもお話ししていただいていることは大変ありがたく、学年・学級でも子どもたちを耕していきたいと思います。併せて、「自主学掲示板」や委員会による紹介などの活動もヒントにしながら、無理なく取り組み積み重ねていってほしいです。

<設備>

- ・トイレの衛生面が気になります。
- ・学童に預けている子供のお迎えで、夜、西門を利用しております。街灯は設置頂いていますが大変暗く足元が見えにくい為、保護者の間で困っております。小さなお子様を連れてお迎えに来られている方も多く、転倒災害防止の観点からも、新たな街灯の設置や、センサーライトの設置をご検討頂けないでしょうか。また、暗がりの中で警備の方が保護者の顔・名札の有無を確認できていない状態であることも、防犯上問題ではないかという声もあります（保護者側から、ほぼ警備員の顔が暗くて見えにくいため）。

施設・設備の改修・修繕については、学校単独の予算ではなく、吹田市の予算の中で、優先順位をつけて行われています。これまでも、学校からの要望や全市的な改修工事計画により、校舎改修、教室改修、トイレ改修、教室へのエアコン設置、体育館屋根の修繕等が実現してきました。しかし、学校本体そのものの老朽化もあり、十分な環境とは言えないところもあります。今後、全市的に体育館のエアコン設置工事も控えています。今後も必要な改修・修繕については、要望していきたいと思います。

<学校の取組・教職員について>

- ・いつもありがとうございます。今年度はたてわり清掃で下級生とグループになり、初めて教える、世話する立場を経験し、成長している様子です。他学年、いろいろな学年の人たちと定期的に交流できるのは学びの多いすごくよい機会だと思うので今後も続くとよいと思います。これからもよろしくお願いします。
- ・運動会のダンスの動画がすごく良かったと思います。家でもそれを見ながら練習していました。画期的な手作り教材、ありがとうございました。
- ・友だちの良いところを見つけて、本人にお手紙で伝える取り組みはとても素敵だなと感じました。コミュニケーション能力が向上できる様な取り組みも、もっと増えたら、お互いを尊重し合えたり、個性を認めて共感でき、より心が豊かになることにつながると思います。様々な課外活動で子供たちの視野が広がり、とても良い経験になっていると思いますので、これからも続けていただけると幸いです。
- ・毎日楽しく通えているのは先生たちのご尽力のお陰と感謝しております。
- ・小学校楽しいと言っています。ありがとうございます。
- ・いつも子供達のことを考え対応していただき、ありがとうございます。
- ・いつも気づかい、心づかいに感謝しております。ありがとうございます。
- ・4月の段階からきめ細やかなご対応に感謝しております。説明もわかりやすく、授業中も配慮いただいて、5年生のこの一年大きく成長を感じるものでした。ありがとうございます。引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。
- ・いつもきめ細やかにご対応くださり、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。これからもどうぞよろしく願いいたします。
- ・いつも子ども達が学校ですごくしやすいように環境を用意して下さい、ありがとうございます。担任以外の先生もわが子のことをよく知ってくれていて、感謝でいっぱいです。業務の多さや対応の多さでお忙しいこととは思いますが、先生方もお体に気を付けて、働きすぎませんように…と思っています。

・高野台子どもまつりでは先生方にもご協力頂き、子どもも楽しむことができました。と同時に、休日に申し訳ない気持ちもあります。平日もしくは代休等、先生方の負担が少しでも少ない方法があればと思います。いつもありがとうございます。

・やまばと学級在籍なので全てのことに参加できるもの、難しいものがある中で行事や日常の授業で子どもが成長できるように配慮しながらいろいろと参加させて頂き、とても感謝しています。クラスの子との兼ね合い等、難しいこともたくさんあったかと思いますが、おかげ様で大きく成長することができたと思います。ありがとうございます。

学校の取組及び担任をはじめとする教職員に温かいお言葉をいただきました。教職員一同、活力として子どもたちに返していくとともに、今後も一層のご期待に応えられるよう、努力を続けていく所存でございます。

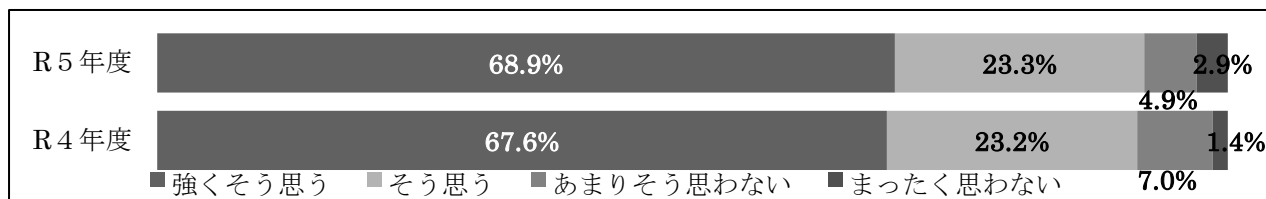
なお、今回取り上げることができませんでしたが、他にもこういったご意見をいただきました。掲載のみさせていただきます。

- ・体力作りや他学校との交流の為に課外クラブを再開していただきたいです。
- ・2年生のみ西門からの登校は危ないと思う。死角が多く信号の無い横断歩道を通ることになるので。
- ・先生方だけでは難しいかと思いますが、もう少し落ち着いた環境で授業を受けることができればありがたいです。
- ・夏場の虫刺されが本当にひどかったので、何か対策を希望します。
- ・学童の子が遊んでいる鉄棒が歩道沿いにあり、横を歩くとよく見えるので、スカートを履いている子は気を付けた方がよいと思いました。
- ・正門の朝の見守りがなくなったのは安全の面から不安です。
- ・チャイムに合わせて授業が始まるよう朝に“瞑想”を取り入れてほしい。
- ・日記を書くことを取り入れ振り返りや思考を高める教育をしてほしい。
- ・学級閉鎖が出た場合や、熱中症で救急車が学校に来た場合などは該当クラスのみではなく、全校生徒に情報共有していただきたいです。いろいろな考え方の保護者がいらっしゃると思いますが、学校で起きた事柄については情報共有していただき、家庭の予定に合わせた感染症対策を行ったり、子どもに個別に言い聞かせるなどさせていただきたいです。よろしく願いいたします。(必要があれば、近隣小学校と同等の対応を教育委員会に求めたいと思います。)
- ・PTA 活動は必要だと思うが、共働き世帯も多いと思うので、できるだけ負担の少ない方法があればうれしい。
- ・子どもから、住んでいるマンションの立地や自家用車の車種でマウントを取り、ヒエラルキーが発生していると聞いております。人間として大切なのは住む場所や家の値段ではなく、誠実で優しく正直である事を学校からも伝えて頂き、いじめの原因にならないように配慮して頂ければと思います。

※R4 年度は無回答を含め100%で算出しております。

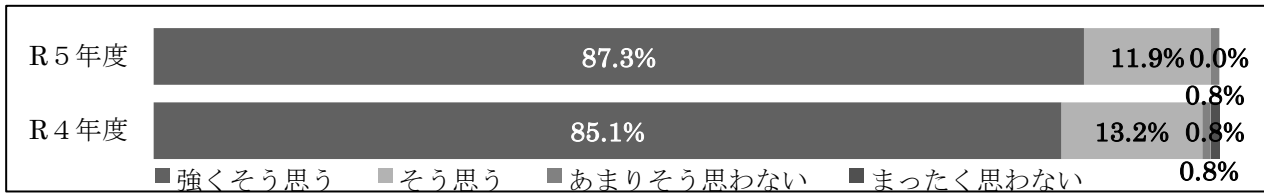
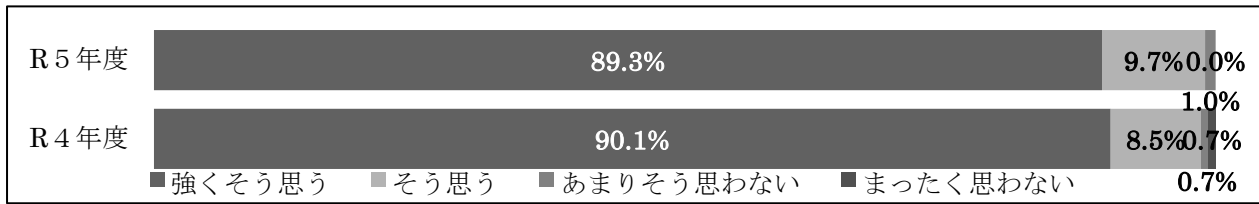
【児童アンケート】 上表：低学年（1～3年） 下表：高学年（4～6年）

1. 学校へ行くのが楽しい



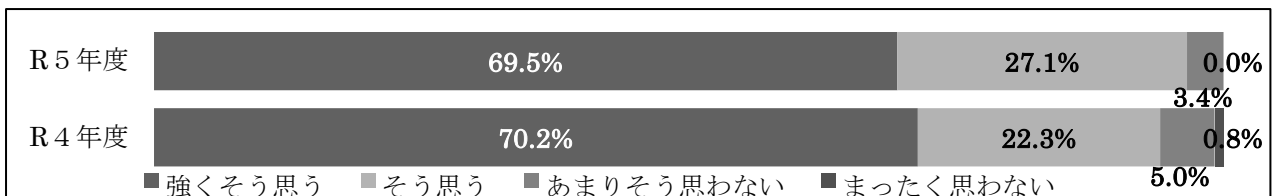
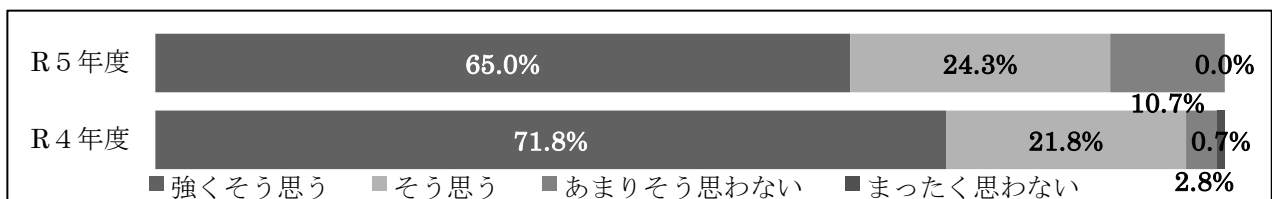
コロナ禍において、肯定的な回答の割合が低学年・高学年ともに下がっていたことを何とかしたいと思い、本校の取組を進めてきました。昨年度大きく増加し、今年度も特に高学年で連続して95%を超え、とてもうれしく思います。今後も学校教育活動を充実させ、子どもの学習意欲を高め、よりよい人間関係を築き、よりよい学校生活を送れるように取り組んでいきます

2. 運動会や遠足などの行事は楽しい



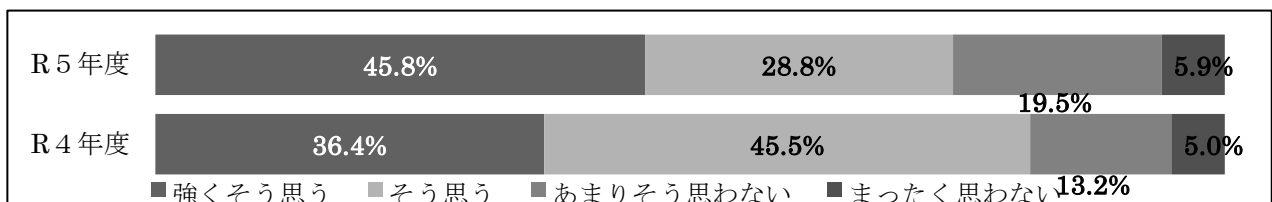
低学年も高学年も昨年度よりさらに上がりとても高い数値となりました。小規模校の強みを生かしてきたこと、また、子ども主体をめざして進めてきました。いろいろな行事があることは、子どもたちの活躍の幅が広がることだととらえています。子どもたちが意欲的に取り組めるように見直しも行っていきます。

3. 先生は自分がかんばったことを認めてくれる



肯定的な回答の割合は、高学年では4%上がり、低学年では4%下がりました。結果、高学年では95%を超え、低学年では90%を下回りました。一方で、「全く思わない」の割合は、低学年・高学年ともにいません。今後も、子どもたち一人ひとりをしていねいに見取り、的確に褒め、自尊感情や意欲を高められるように努めます。

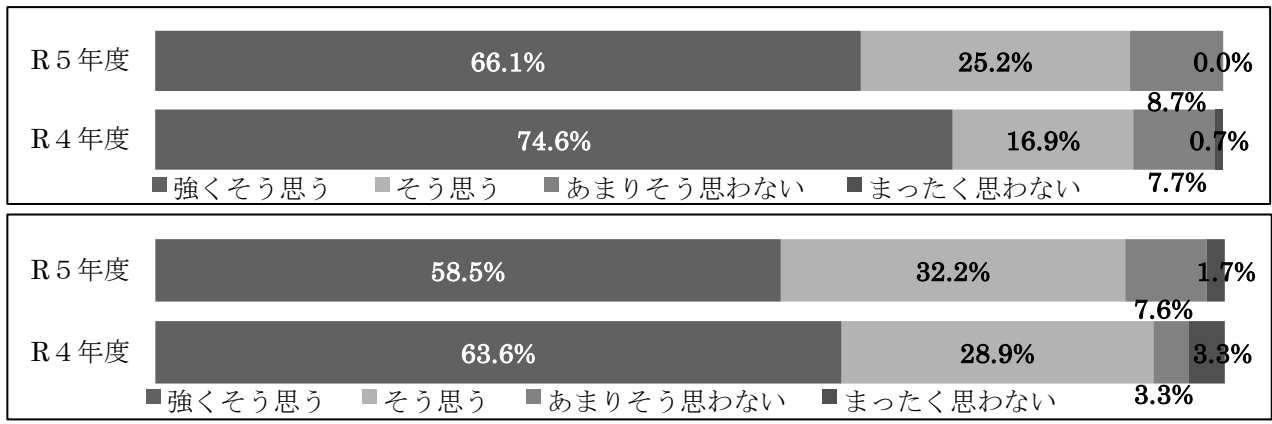
4. 先生には何でも相談できる



低学年・高学年とも、肯定的な回答の割合がほぼ同じで、内容についてもほぼ同じです。昨年度との比較

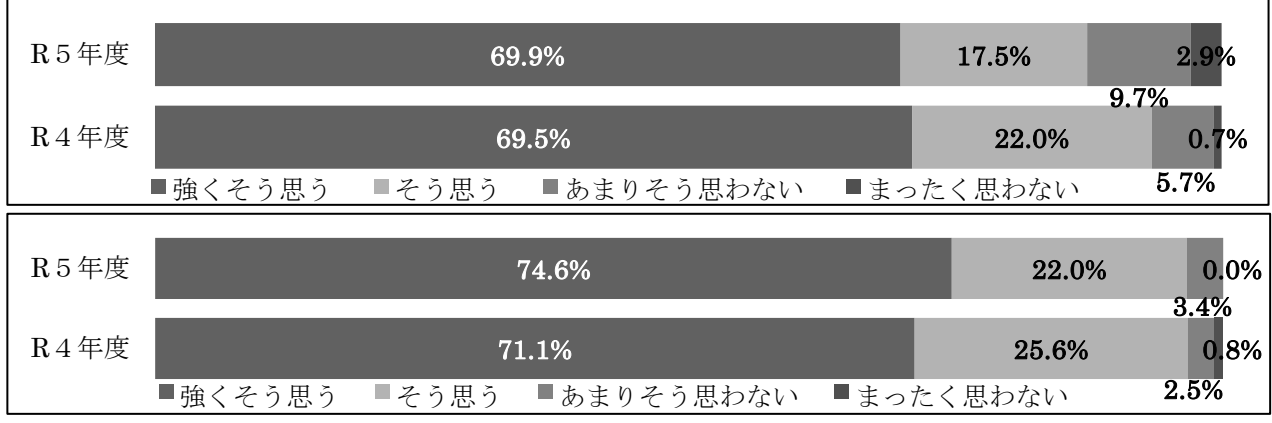
では、低学年では5%、高学年では7%と、どちらも下がっており気になるところです。ただ、高学年の肯定的な回答の割合は、R1年度以降で10%以上上がっています。高い数値とは言えませんが、子どもたちとの信頼関係を保ち、担任に限らずどの教職員にでも相談できる環境づくりを進めるように努めます。

5. 先生は自分のことをわかってきている



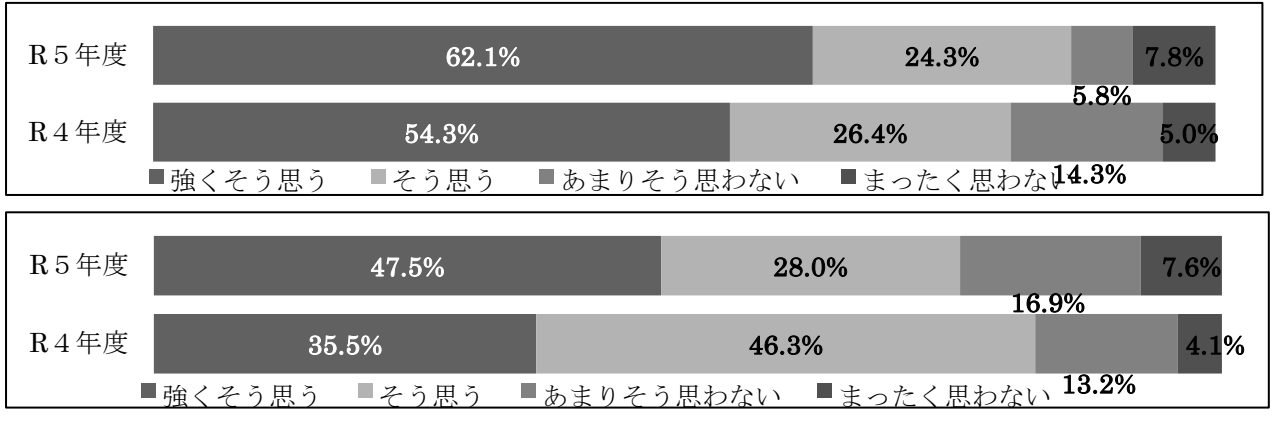
低学年・高学年ともに肯定的な回答の割合が9割を超えています。一方で、昨年度より低学年・高学年ともに「強く思う」の割合が減っています。今後も、さまざまな場面での子どもたちへのきめ細かな見取りや対応を行い、信頼関係を高めるように努めていきます。

6. 授業はわかりやすい



肯定的な回答の割合が、低学年では4%下がりました。高学年では96.6%で、連続して高い割合を保っています。学習用端末 (iPad) の導入によって学習活動の幅も広がりました。学年が上がるにつれて、学習内容が難しくなってくることや既習内容の定着が学習理解につながることも踏まえ、授業力を高めるとともに、個に応じた指導や習熟度別指導の充実など学習形態や指導方法の工夫・改善に取り組んでいきます。

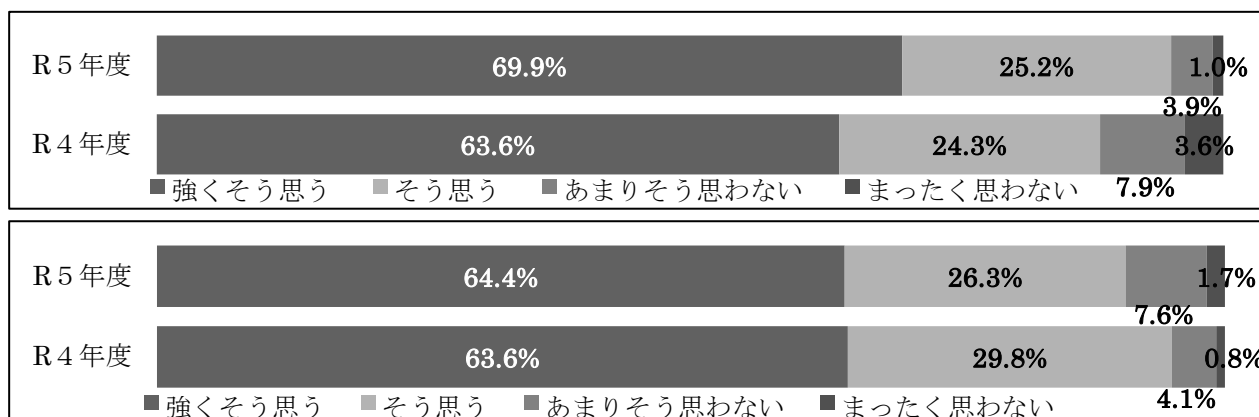
7. 早寝・早起き・朝ごはんを気をつけている



肯定的な回答の割合が、低学年では5%以上上がり、高学年では5%以上下がりました。結果、低学年と高学年で大きな開きが出ました。高学年では相当数の児童が、生活リズムが整えられていないようです。規

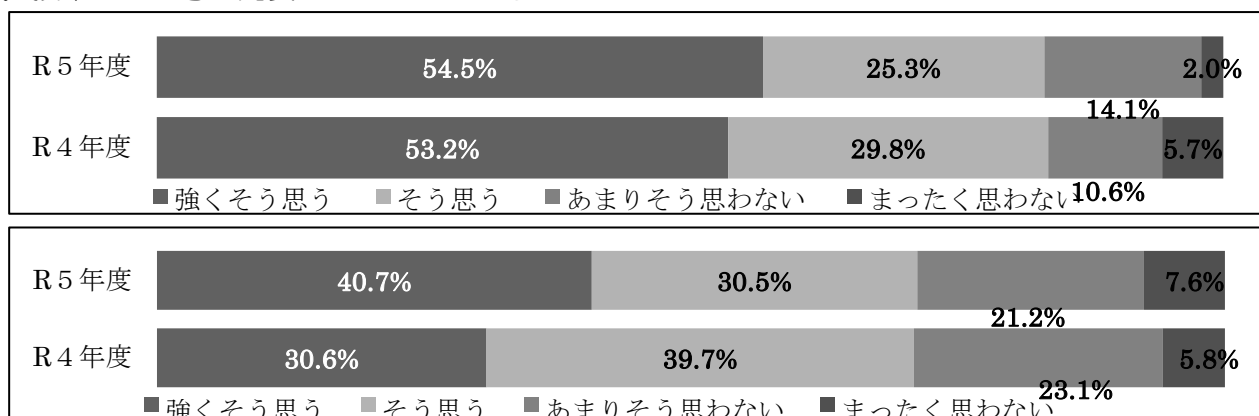
則正しい生活を送ることは、心身の健全な成長に大きく影響します。学校でもよりよい生活習慣や規則正しい生活の大切さについて啓発していきたいと考えます。

8. 宿題は忘れないよう毎日がんばっている



低学年でも高学年でも、肯定的な回答の割合が、90%を超えています。低学年では大きく増加し、高学年ではやや減少しました。宿題については、学習内容の復習・家庭学習の習慣化という面からも大事だと捉えていますので、量や内容についても見直ししながら、家庭と協力して指導支援していきます。

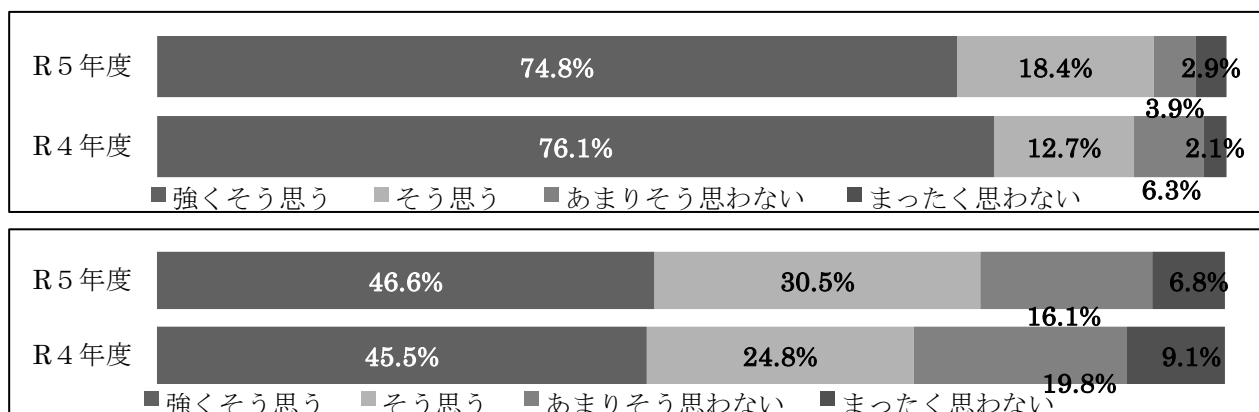
9. 授業はよく考え発表しようとしている



低学年の肯定的な回答の割合は、昨年度よりやや下がっていますが、ほぼ8割で、自分の考えを伝えようとする姿勢は育ちつつあります。否定的な回答の割合がまだ20%あります。対して高学年では肯定的な回答の割合がやや上がりましたが、否定的な回答の割合が29%もあり課題と言えます。

教育活動のさまざまな場面で、個々の子どもに応じて継続して働きかけることで、自尊感情を高め、自信を持って学習活動に取り組めるように促していきます。

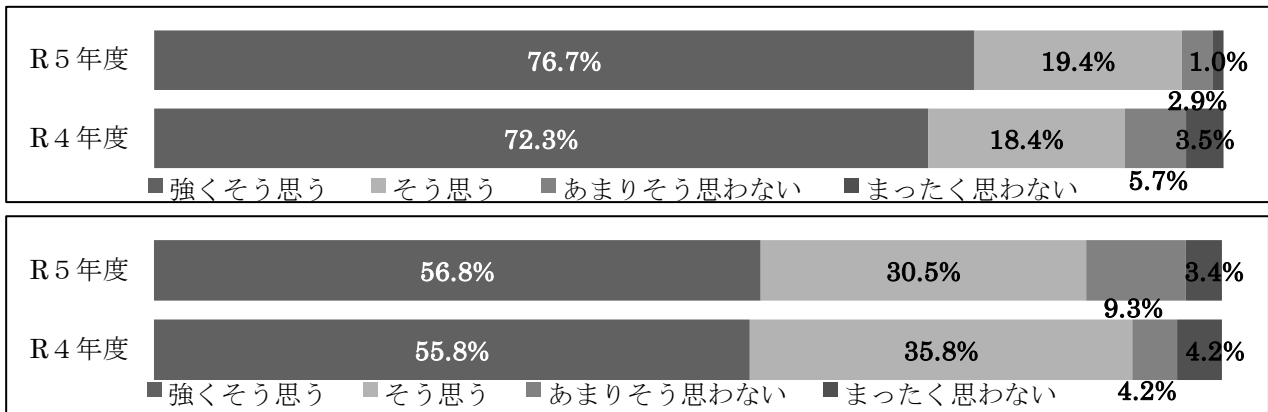
10. 本を読んだり、読んでもらうのが好きだ



肯定的な回答の割合が、低学年・高学年ともに上がっています。特に高学年では7%上がりました。しかし、依然として高い数字とは言えません。読書習慣は学力にも影響します。図書の時間、学校図書館の有効

な活用や読書の楽しみを感じることでできる取組を進めていきたいと考えます。家庭でも読み聞かせや読書の機会を増やすようにしてください。

1 1. 問題をとくとき、あきらめずにがんばっている



低学年の肯定的な回答の割合が、昨年度に比べ5%上がっているが、高学年では肯定的な回答の割合が、昨年度に比べ4%下がっています。低学年では96.1%ととても高くなっています。一方、高学年では否定的な回答の割合が、13%となっています。根気強く問題に向き合うことを学び、考えを深めることや達成感を味わうことができるように、授業改善、指導支援を行っていきます。

◇児童アンケートの結果から

*概ね肯定的な回答の割合が高くなっています。中でも、低学年・高学年ともに90%を超えて高かったのは以下の項目です。

1. 「学校へ行くのが楽しい」 低：92.2% 高：95.8%
2. 「運動会や遠足などの行事は楽しい」 低：99.0% 高：99.2%
5. 「先生は自分のことをわかってくれている」 低：91.3% 高：90.7%
8. 「宿題は忘れないよう毎日がんばっている」 低：95.1% 高：90.7%

*肯定的な回答の割合が、高学年が低学年を上回った項目が4項目ありました。

1. 「学校へ行くのが楽しい」
 2. 「運動会や遠足などの行事は楽しい」
 3. 「先生は自分ががんばったことを認めてくれる」
 6. 「授業はわかりやすい」
- 学校生活や学習、先生に対する高学年の肯定感の高さを感じ取れます。

*肯定的な回答の割合が

A. 低学年・高学年ともに増えた項目

2. 「運動会や遠足などの行事は楽しい」
10. 「本を読んだり、読んでもらうのが好きだ」

B. 低学年・高学年ともに減った項目

4. 「先生には何でも相談できる」
5. 「先生は自分のことをわかってくれている」

C. 低学年は増えた・高学年は減った項目

7. 「早寝・早起き・朝ごはんに気をつけている」
8. 「宿題は忘れないよう毎日がんばっている」
11. 「問題をとくとき、あきらめずにがんばっている」

D. 低学年は減った・高学年は増えた項目

3. 「先生は自分ががんばったことを認めてくれる」
9. 「授業はよく考え発表しようとしている」

*「先生には何でも相談できる」(項目4)での肯定的な回答の割合が、低学年・高学年ともに他の項目と比べて低い。子どもたちが一人で抱え込むことのないよう、人と人とのつながりを土台とした信頼関係を築くべく、教職員で共通認識を持って子どもたちに寄り添いながら、指導支援に取り組んでいきたいと考えます。

- *高学年では、「早寝・早起き・朝ごはんに気をつけている」（項目7）「授業はよく考え発表しようとしている」（項目9）での肯定的な回答の割合が他の項目と比べて大きく下回っています。特に生活リズムが安定していることについては、心身の健全な成長に大きく影響します。学校でも啓発していきたいと考えます。
- *生活規律、学習規律の確立をめざし、教育活動全般を通して道徳性を養い、規範意識の醸成を図ります。
- *自分の考えや思いを伝えることやコミュニケーションが苦手な児童がいます。教育活動全般を通してコミュニケーション力を高める機会を増やし、子ども自身がよりよい人間関係を築こうとする意識醸成を図り、よりよい学級集団づくり、学校づくりに努めたいと考えます。
- *自分の考えや思いを発表する機会を充実させて、間違ってもそれを認められ、安心して伝えることのできる集団づくりを進めます。
- *相手の気持ちに寄り添い受け止めることができる子どもを育むため、日々の学習活動や集会などを通して、傾聴力、「目（相手を見て）と耳（耳をすませて）と心（相手の気持ちを思いながら）で聴く力」を培っていきたいと考えます。